



自衛隊佐賀地方協力本部

令和7年度艦艇広報（掃海艇ひらしま）



来場者が掃海艇「ひらしま」に乗船する様子



放水訓練体験の様子



ラッパ吹奏の様子



保育園児に艇上装備品を説明する様子

佐賀地方協力本部（本部長：佐々木事務官）は、9月14日（日）から16日（火）までの間、佐賀県唐津市東大島町の唐津東港において、掃海艇「ひらしま」（「ひらしま型」掃海艇の1番艇（艇長：長谷川1等海尉））の艦艇広報を実施した。

本艦艇広報は天候にも恵まれ、期間中、約500名の来場者で賑わった。艇内見学では、来場者が感応掃海具、処分艇及び水中航走式機雷掃討具などの装備品を見学した。

15日（月）午後は、体験航海が行われ、航海中の乗員が艇長の命令に機敏に反応して行動する姿を間近に感じていただいた。また、ラッパ吹奏、手旗信号の展示及び消火装置操作体験などのイベントも行われ、「掃海艇の役割や乗員の任務に対する理解を深めることができた。」と、募集対象者やその同行者を含めた広い年齢層の来場者から大変好評であった。この際、来場者から「船が磁場の変化に影響を与えないように木製であるということを知って知った」、「海上自衛隊が機雷排除を行っていることを知る貴重な機会となった。」などの感想を聞くことができた。

最終日は、見学に訪れていた県内の保育園児から、「ありがとう」、「また来てね。」などの感謝の声をかけられながら、掃海艇「ひらしま」は出港した。

佐賀地本は、「引き続き様々な形での広報活動を通じて、自衛隊への理解・協力の促進を図りたい。」としている。



保育園児との写真撮影